

Technical Review (会員資格を問わずどなたでも聴講無料)

5月22日(木)15:10~16:10 会議センターメインホール/1F

(1)「気候変動の影響と国際的な取組」

講師：三村 信男氏(茨城大学)

講演内容：地球温暖化対策は、国際政治の重要な課題に浮上しており、昨年6月のハイリゲンダムサミットでは、各国首脳が、2050年までに温室効果ガス排出の50%以上の削減を真剣な検討対象にすることで合意しました。この流れは昨年末のCOP13につながり、さらに今年7月の洞爺湖サミットに引き継がれようとしています。本講演では、これらの動きの科学的な土台となっている「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」第4次報告書に基づいて、気候変動の将来予測、影響評価、対応策について最新の知見を紹介します。

(2)「クリーンディーゼルによる環境保全とモビリティ確保の両立」

講師：岩井 信夫氏(新エネルギー・産業技術総合開発機構)

講演内容：低公害と低燃費を両立し、大量普及によって地球環境と都市環境の保全を図るクリーンディーゼルエンジンに関する内外の国策やプロジェクトを紹介し、2004年度から5ヶ年計画で、産官学協同にて取り組んでいるNEDO「クリーンディーゼル」プロジェクトの技術開発内容を例示しながら、燃焼や後処理技術の研究開発動向および燃料事情などを加味した普及動向を論じます。

企画：学術講演会運営委員会/司会：青柳 友三(新エシシーイー)

Keynote Address (会員資格を問わずどなたでも聴講無料)

5月22日(木)16:20~17:20 会議センターメインホール/1F

「脳を鍛えて安全運転～安全運転と脳機能の関連」

講師：川島 隆太氏(東北大学加齢医学研究所)

講演内容：近年の科学技術の発展により、さまざまな行動や思考を行っている時の脳活動を定量的に評価することが可能となりました。川島教授の研究チームは、機能的MRI装置を用いて、運転時に危険予知を行う脳のネットワークが空間認知に関わるネットワークと同一であることを示して、危険予知能力の向上のための認知訓練法を提案してこられました。また、高齢者の大脳の前頭前野の機能を、読み書き計算を用いた脳トレによって向上させることで、安全運転能力が向上することも証明されています。

脳研究の第一人者で「脳トレ」で有名な川島教授に、安全運転と脳の関係について分かりやすくお話し頂きます。

企画：総務委員会/協力：東北支部/司会：高原 正雄(総務担当理事/いすゞ中央研究所)

